



# 文字と言葉とイメージ。

演劇空間スペースベン

〈文／創造集団パノラマ屋・安達良春〉

「リーディングをやるうと思っ  
ているんだけどやってみない？」  
「：リーディングってやった事  
がないんですけど、どんなもの  
ですか？」

「本を持って読むんだよ」  
「：朗読劇みたいなもんですか  
ね？」

「いや、ちよつと違うな。ラジ  
オドラマとも違うし」

「難しいですね。：でも、台詞を覚  
えなくてもいいって事ですよ」

「そうだな。でも、何かのカタ  
チで緊張感がないと駄目だ。とり  
あえず三浦哲郎さんの短編をやる  
うと思ってる」

こうして「三浦哲郎作品集リー  
ディング」なるものが始まった。  
まだまだ認知度は低いと思うが、  
は6月10日に20回目を迎え、16本  
の短編が舞台にあがった。

正直な話、「本を読む」という  
事がこれ程難しく、面白いものだ  
とは思っていなかった。まず何よ  
りも本が面白い。恥ずかしながら  
三浦哲郎さんの本を読んだことが  
なかったのだが、簡単に引きずり  
こまれた。

心を読む、人の生臭い部分を見



せつける話、くだらない話。様々  
な世界が短い文章の中に凝縮され  
ている。僅か数行の文字の中に、  
人が見えてくる。それを見落とさ  
ずに言葉にしていく。しかし、残  
念ながら今の自分では言葉だけで  
それを伝える事はできない。

そこに怯む事なく自分のイメー  
ジを重ねていく。照明、小道具、  
状況設定、映像…。使えるものは  
何でも使う。既に完成している世  
界に自分のイメージを上塗りして  
いく事は、一歩間違うと作品自体  
を壊してしまう可能性もあるが、  
躊躇してはならない。そうしな  
いと、小説の面白さを伝えられない  
ばかりか「小説に読まされて」し  
まう。

様々な試行錯誤を繰り返しながら、  
今更ながらに「ああ、これは

~演劇空間 スペースベン~

7月のFriday Amusement Negative Shop

- 7月1日 (第595回) 三浦哲郎作品集 リーディングvol.23
- 7月8日 (第596回) rakuda1gouアコースティックライブ
- 7月15日 (第597回) 三浦哲郎作品集 リーディングvol.24
- 7月22日 (第598回) 三浦哲郎作品集 リーディングvol.25
- 7月29日 (第599回) 三浦哲郎作品集 リーディングvol.26

※特別番組以外全て午後7時30分～、料金/一般500円 高校生以下100円 ※料金改定しました！高校生以下は、特別番組以外100円でご覧になります。チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

tsutomu\_tanaka ☎070-5095-2028  
スペースベンHPアドレス <http://spaceben.com/>  
Eメールアドレス owner@spaceben.com

■演劇空間 スペースベン  
八戸市柏崎1-11-8  
☎ 0178-43-9876  
FAX 03-5908-9120

芝居と「緒だ」と感じた。それも  
恐ろしくシンプルな、自分と作品  
一対一の勝負。それを独りよがり  
と言う人もあるだろう。しかし気  
をとられている暇はない。とにか  
く作品相手にフルラウンド戦い抜  
く事に必死だ。時には正攻法で、  
時には反則技を使ってでも勝ちに  
いく。

……え？これまでの勝敗です  
か？ もちろん全勝です。 え？  
信じられない？ じゃあ、金曜日  
の午後7時30分にスペースベンで  
お待ちしております。あなたの判定  
を聞く為に。

青森県民文化祭参加作品  
「陽なたと陽かげ～三浦哲郎の世界～」

◆日時 11月12日(土) 開演：19:30  
11月13日(日) ①開演：14:00  
②開演：16:00

※開場はそれぞれ30分前

◆場所 スペースベン  
◆料金 一般：1,000円  
高校生以下：500円

